



# 平成30年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月14日

上場会社名 株式会社キャンディル  
コード番号 1446 URL [www.candear.co.jp](http://www.candear.co.jp)

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生

問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 藤原 泉

TEL 03-6862-1701

四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	9,235		299		248		95	
29年9月期第3四半期								

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 94百万円 ( %) 29年9月期第3四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	19.84	
29年9月期第3四半期		

(注) 1. 平成29年9月期第3四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、平成30年9月期第3四半期において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

3. 当社は、平成30年3月14日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
30年9月期第3四半期	6,506		2,547		38.9
29年9月期	7,045		2,452		34.6

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 2,532百万円 29年9月期 2,437百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期				0.00	0.00
30年9月期		0.00			
30年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,820	7.2	374	12.1	331	16.0	155	38.1	31.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期3Q	4,800,200 株	29年9月期	4,800,200 株
期末自己株式数	30年9月期3Q	株	29年9月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期3Q	4,800,200 株	29年9月期3Q	株

(注)1. 当社は、平成29年9月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年9月期第3四半期の期中平均株式数(四半期累計)については記載していません。

2. 当社は、平成30年3月14日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策の効果により、企業収益や雇用環境は回復基調で推移しているものの、将来不安を背景に個人消費は依然として低迷が続いております。また、海外諸国の政治・経済の不安要素の影響により、先行き不透明な状況であります。

当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、国土交通省発表による新設住宅着工戸数は平成29年6月～平成30年5月累計で前年同期比97.2%と減少するものの、4月及び5月においては前年同月比で増加に転じており堅調に推移しました。商業施設などの建設業界におきましては、東日本大震災復興関連事業や国土強靱化取組による各種インフラの耐震補強事業、東京オリンピック・パラリンピックに伴うインフラ整備など依然として堅調に推移しています。

このような状況のもとで、当社グループは、「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という当社グループ理念に基づき、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上に向け活動を強化しております。また、当社グループビジョン「全ての建物にキャンディル」の実現に向けて、平成28年に閣議決定された「住生活基本計画」に沿ったサービスの拡充と「お客様のニーズにあった新商品開発に取り組み、住宅関連サービス及び商業施設関連サービスの拡充等、売上拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,235,464千円、営業利益は299,821千円、経常利益は248,512千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は95,237千円となりました。なお、当社では組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に144,167千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は392,680千円、のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は239,405千円となります。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりです。

#### ① リペアサービス

当第3四半期連結累計期間におけるリペアサービスの売上高は3,522,588千円であります。

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心としたリペアサービスを提供しており、同社のリペアサービスの売上高は2,675,272千円となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心としたリペアサービスを提供しており、同社のリペアサービスの売上高は847,315千円となりました。

#### ② 住環境向け建築サービス

当第3四半期連結累計期間における住環境向け建築サービスの売上高は2,539,463千円であります。

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心とした定期点検やリコール対応を提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は1,727,486千円となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心とした検査サービスや内覧会運営サービス、リコール対応を提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は661,113千円となりました。株式会社キャンディルデザインは北海道内集合住宅居室の設計変更を中心とした施工サービスを提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は150,863千円となりました。

#### ③ 商環境向け建築サービス

当第3四半期連結累計期間における商環境向け建築サービスの売上高は2,558,706千円となりました。

#### ④ 商材販売

当第3四半期連結累計期間における商材販売の売上高は614,706千円であります。

株式会社キャンディルデザインは、補修材料を中心とした販売サービスの提供と北海道を中心に高級カーテンなどのインテリア商材の販売サービスの提供を行っており、同社の商材販売の売上高は596,146千円となりました。株式会社バーンリペアは、主にハウビルダー向けにお手入れセット（住宅のメンテナンス商品）の販売を行っており、同社の商材販売の売上高は18,559千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は6,506,184千円となり、前連結会計年度末に比べ539,647千円の減少となりました。

流動資産は3,035,943千円となり、前連結会計年度末に比べ344,306千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金が222,265千円減少したこと、受取手形及び売掛金が149,804千円減少したことなどによります。

固定資産は3,470,241千円となり、前連結会計年度末に比べ195,341千円の減少となりました。これは、主にのれんが144,167千円減少したことなどによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,958,699千円となり、前連結会計年度末に比べ634,505千円の減少となりました。

流動負債は2,257,697千円となり、前連結会計年度末に比べ24,590千円の減少となりました。これは、主に短期借入金が250,000千円増加したこと、未払法人税等が163,780千円減少したこと、賞与引当金が91,795千円減少したことなどによります。

固定負債は1,701,001千円となり、前連結会計年度末に比べ609,914千円の減少となりました。これは、主に長期借入金が608,000千円減少したことなどによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,547,485千円となり、前連結会計年度末に比べ94,857千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が95,237千円増加したことなどによります。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は38.9%（前連結会計年度末比4.3ポイント増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年7月5日付の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」にて発表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。なお、上記予想は、現在入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,379,948	1,157,683
受取手形及び売掛金	1,684,815	1,535,010
商品及び製品	82,262	97,711
原材料及び貯蔵品	39,578	43,344
繰延税金資産	98,757	47,110
その他	106,820	159,493
貸倒引当金	△11,933	△4,410
流動資産合計	3,380,249	3,035,943
固定資産		
有形固定資産	207,330	200,236
無形固定資産		
のれん	3,267,803	3,123,635
その他	46,910	36,079
無形固定資産合計	3,314,714	3,159,714
投資その他の資産		
繰延税金資産	57,850	26,550
その他	88,602	88,748
貸倒引当金	△2,914	△5,008
投資その他の資産合計	143,538	110,291
固定資産合計	3,665,582	3,470,241
資産合計	7,045,832	6,506,184

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	290,077	266,403
短期借入金	350,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	177,488	13,707
賞与引当金	182,507	90,712
未払費用	602,020	596,551
その他	480,195	490,322
流動負債合計	2,282,288	2,257,697
固定負債		
長期借入金	2,308,000	1,700,000
その他	2,915	1,001
固定負債合計	2,310,915	1,701,001
負債合計	4,593,204	3,958,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	340,000	340,000
資本剰余金	2,060,100	2,060,100
利益剰余金	35,694	130,932
株主資本合計	2,435,794	2,531,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,356	1,073
その他の包括利益累計額合計	1,356	1,073
新株予約権	15,477	15,380
純資産合計	2,452,628	2,547,485
負債純資産合計	7,045,832	6,506,184

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	9,235,464
売上原価	5,929,571
売上総利益	3,305,893
販売費及び一般管理費	3,006,071
営業利益	299,821
営業外収益	
受取利息	26
受取配当金	47
受取保険金	2,001
固定資産売却益	602
その他	1,276
営業外収益合計	3,954
営業外費用	
支払利息	19,755
支払手数料	13,743
上場関連費用	14,400
その他	7,363
営業外費用合計	55,263
経常利益	248,512
税金等調整前四半期純利益	248,512
法人税、住民税及び事業税	70,175
法人税等調整額	83,098
法人税等合計	153,274
四半期純利益	95,237
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	95,237



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	95,237
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△283
その他の包括利益合計	△283
四半期包括利益	94,954
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	94,954
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

公募増資による新株式の発行

平成30年6月1日及び平成30年6月15日開催の取締役会において、下記のとおり新株式の発行を決議し、平成30年7月4日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は448,560千円、発行済株式総数は5,000,200株となっております。

- ① 募集方法：一般募集(ブックビルディング方式による募集)
- ② 発行する株式の種類及び数：普通株式200,000株
- ③ 発行価格：1株につき1,180円
- ④ 引受価格：1株につき1,085.60円
- ⑤ 資本組入額：1株につき542.80円
- ⑥ 発行価格の総額：236,000千円
- ⑦ 引受価格の総額：217,120千円
- ⑧ 資本組入額の総額：108,560千円
- ⑨ 払込期日：平成30年7月4日
- ⑩ 資金の用途：コールセンターシステム導入、新規コールセンター設置及び業務系基幹システムの開発など事業拡大のための設備投資資金に充当する予定であります。